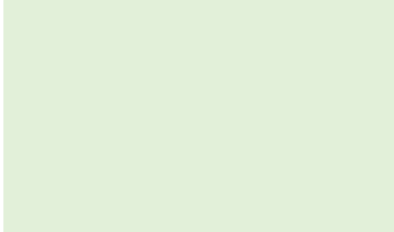



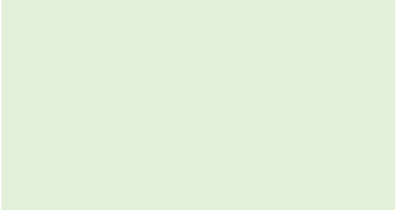
 ^{ある}も歩けば^{ぼう}棒にあたる

^{ふうふげんか}夫婦喧嘩は  も食わない

 ^{こばん}に小判

も木^きから落^おちる

の嫁^{よめ}いり

取らぬ  の皮算用



に真珠

張り子の

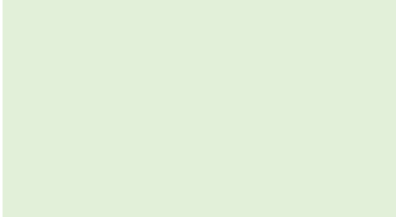


の目にも涙

■ に金棒

■ に引かれて善光寺参り

■ の耳に念仏

天高く  肥ゆる秋

腐っても 

 の頭も信心から

■ で鯛を釣る

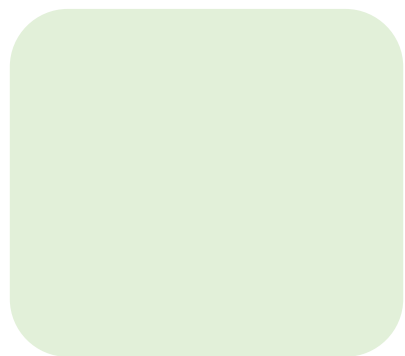
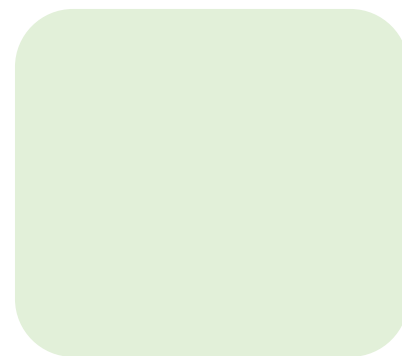
逃がした ■ は大きい

■ の滝登り



を読む

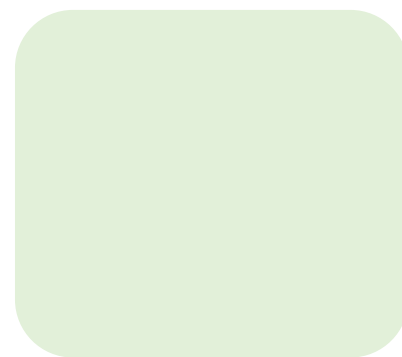
まな板の



の川流れ

■の甲より年の功

月と



足元から■が立つ

の行水

が豆鉄砲を食ったよう

一富士二三茄子



が鷹を生む

能あるは爪を隠す



は千年、亀は万年

も鳴かすば撃たれまい

百まで踊り忘れず

に睨まれた蛙

飛んで火にいる夏の



泣きっ面に



腹の



がおさまらない



の面に水



の手も借りたい



今泣いた

がもう笑う